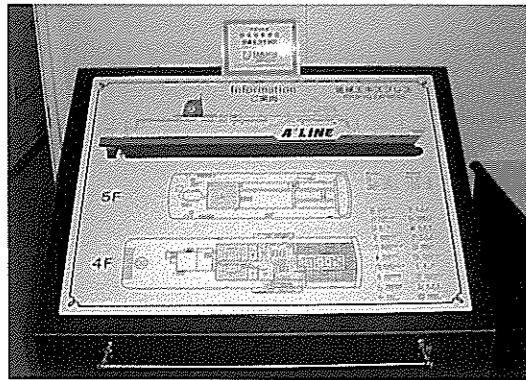


鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

# バリアフリー～最前線

Barrier Free-Saizensen



わかりやすい船内表示板

●神戸・大阪と宮崎・奄美群島・沖縄を結ぶ大島運輸の阪神フェリーに、バリアフリー船「琉球エキスプレス」が今年初めから就航した。全長百四十五・六メートル、旅客定員二百四十名で、トラック七十台、乗用車百台を積むことができる。船内には、旅客の昇降用にエスカレーターとエレベーターがそれぞれ基ずつ備えてあり、エレベーターは車いすでも使える。客室には身体

県外航路にバリアフリー船就航。

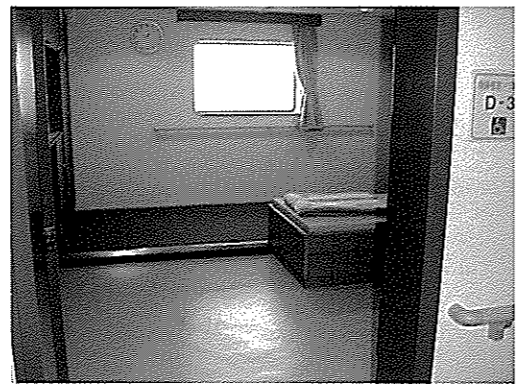
**琉球** **FILE No.1**  
**エキス**  
**プレス**

(大島運輸) ●099-222-2338

障害者が二部屋あり、専用のトイレやシャワーが完備している。船の中を移動する際の動線となる通路には誘導ブロックが張られており、船内表示板も点字が併記されている。通路の幅は百八センチとつめてあるので、車いすでの回転もスムーズにできる。もちろん、床は段差のないフラットなつくりで、自動販売機なども車いす使用者の高さに合わせた使いやすいものが設置されている。その他にも、トイレに入ビートが備え付けてあるなど、障害のあるなしに関わらず、利用者にとって使いやすいかがほとんどこれだけ快適な船の旅が楽しめる。

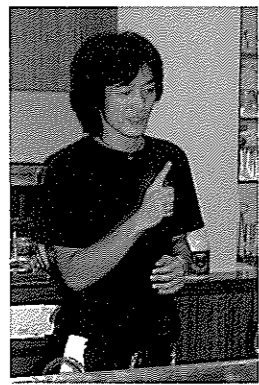


車いすOKのエレベーター



広く使いやすい身障者用の部屋

書をもつ約六十名ほどの人が通ってくる。湊崎さんの両親も聴覚障害者で、湊崎さんは牧師である父の説教を手話で通訳している。そうしたいま



手話でお客様とのふれあいを

●鹿児島市小野にある障害者福祉の総合施設「ハートピア」から「がこしまアリーナ」のある永吉・原良地区にかけては区画整理が進み、整然とした美しい街並みが続いている。その画に、一見ブティック風のおしゃれなカフェがある。オーナーの湊崎さんが今年の三月から始めた「PBカフェ」で、よくみるとお店は教会の角に建っていることがわかる。教会は、湊崎さんの父が牧師を務める「鹿児島デフ・バプテスト教会」で、ここには聴覚に障

FILE No.2 障害者と健常者の交流の場になれば...

**PB** **カフェ**

(PBカフェ) ●099-206-4320



明るく居心地のいい店内

もあって、「PBカフェ」には教会に通う人や近所に住む人の利用が多い。障害者どうし、あるいは健常者との交流の場になれば、というのが湊崎さんの夢で、手話講座を開いたりするなど、だれもが入りやすいお店づくりに力をそそいでいる。ちなみにPBとはパシフィック・ビーチの頭文字で、湊崎さんが学生時代に留学していたアメリカ西海岸にある地名。明るく開放的、だれとも友だちになれるようなお店である。



一見ブティック風の店がま

## 一年中なにかを収穫できる楽しさ

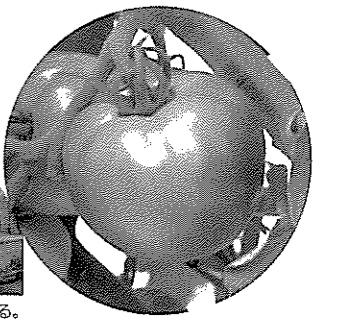
食の宝庫である鹿児島県。その中でも大隈半島は笠野原台地はじめ広大な畑がひろがり、そこには四季を通して豊かな作物が育つ。ピノキオ農園は、大隈半島の中心都市鹿屋市を貫く幹線道路から少し離れたところにはひろがっている。ピノールハウス群とともろこし畑、総面積二ヘクタールの観光農園である。ここは、合併浄化槽の維持管理などを行う鹿屋衛生管理センター株式会社が経営にあたっている。同社は、十二年程前に農業分野に進出した。「最初の頃は畑ワサビの栽培に挑戦したんですが、暑い鹿児島ではうまく育ってくれませんでした。それから、ナスやミニトマトの促成栽培、イチゴの高設栽培等に取り組み納得いくものができるとなったので、五年前から観光農園として開放するようになった。」とピノキオ農園の社長、長。現在は、イチゴ、トマト、メロン、スイートコーン、スイカ、軟弱野菜、花などを定期的に植えて、年中収穫できる体制になっている。

## ●ありば通心 だれでも気軽に収穫体験 ピノキオ観光農園

開放的な農園では、お互いの距離が近づいていきます。



市の中心部から車で10分程の所にある。



## 自然と声をかけ合える喜び

観光農園のスタートと共に、農園近郊の学校や福祉施設に案内を出したところ、子どもたちの農業体験や施設のデイスーパービスのプログラムとして同園の収穫体験に関心が集まった。とりわけ、ハウス内の



四季を通じて、いろんな農作物が

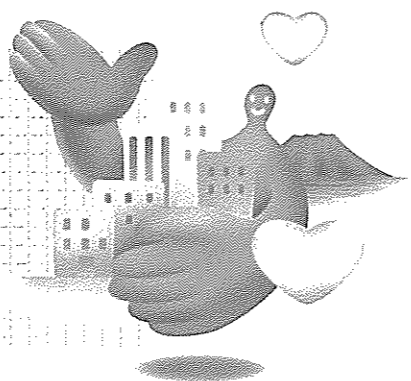
「ありば通心」は、最近はおいでになる施設の方が逆に気をつかってくださいます。お礼や感謝の便りもずいぶんいただきました。ただ、トイレが和式なので使いやすい洋式にするとか、もっともっと改善する部分も多々あるのではないかと思っています。」と社長、長。そして「施設に入所されている方とはどうしてても疎遠になりがちです。ところが、こうした場へ出ていられると、隔たりみたいなものがなく、自然と声をかけ合えるんです。こういうことを大切にしていきたいです。」と語った。



子どもたちから寄せられた感謝の手がき



# 鹿児島県からの お知らせ



## 店舗等のバリアフリーのための低利・長期資金 【福祉のまちづくり施設整備資金】

この資金は、中小企業者の方などが、公共的施設（不特定かつ多数の方が利用する施設で、物品販売業を営む店舗、飲食店、理・美容院、ホテル、病院など）を、整備基準に適合した整備を行う場合に必要資金を融資するものです。

※整備基準とは、公共的施設の出入口、廊下、階段、エレベーター、トイレなどについて、高齢者や障害者の方などが安全かつ快適に利用できるようにするために定めた基準です。



### 貸付条件

#### ご利用いただける方

県内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業者及び組合で、鹿児島県福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するための整備を行おうとする方

#### 申込先

各商工会議所・商工会  
組合は鹿児島県中小企業団体中央会

#### 問合せ先

県庁障害福祉課 TEL.099-286-2749  
県庁中小企業課 TEL.099-286-2946

#### 限度額

4,000万円

#### 利率（平成15年4月1日現在）

5年以内の返済 年 2.25%

5年超7年以内の返済 年 2.45%

7年超10年以内の返済 年 2.85%

#### 保証料

年 0.7%

#### 返済期間

10年以内

## ありがた掲示板③ 雨も吹き飛ばす熱い戦い! ～平成15年度障害者スポーツ大会開催～



初夏までもない5月、第11回県ゆづあいスポーツ大会及び第41回県身体障害者スポーツ大会が、県立鴨池陸上競技場やハートピアかこしまなど鹿児島市内の3会場で開催されました。県内各地から集まった知的障害者550人、身体障害者396人の選手たちが、陸上、水泳、卓球、アーチェリー、フライングディスク、ボウリングなどの競技に参加、日ごろの練習の成果を競い合いました。五月晴れとはほど遠く、両大会はいずれも朝から低く雲がたちこめ、断続的に小雨が降るあいにくの天候でしたが、でも真剣に競技に取り組むアスリートたちに、スタンドはおおいに盛り上がりました。競技成績が上位の選手は、11月に静岡県で開催予定の全国大会に出場の予定。富士山にも負けないさわやかな戦いを見せてくれることでしょう。

## リレーエッセイ ハードルを越えて③

上高原 大介さん  
(鹿児島市)

### 目が見えないことに苦勞を感じない。 チャレンジは楽しい。

僕は双子の弟として生まれましたが、超未熟児でした。しかも僕だけが未熟児網膜症と診断され、視覚に障害があったのです。でも、目が見えないということを知ったのは小学校に入ってから。それまでは、兄や隣近所の子といっしょに遊んでいました。小学校一年生の時にエレクトーンを始めました。筑波大附属盲学校の音楽科に進みたくて、それにはピアノの実技試験があると聞いたのでピアノを習

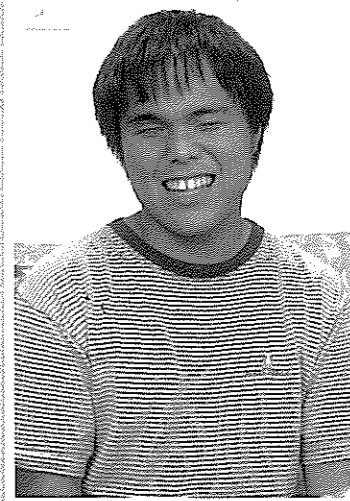


いに行っただです。ピアノの先生に歌も教えてもらい、童謡やイタリア歌曲などを歌っていました。ただ、その頃にラジオの深夜放送で『歌うヘッドライト』という番組があり、演歌ばかり流れるので、知らず知らずのうちに演歌も好きになりました。それで、家族でカラオケに行く時なんか、点字図書館で演歌の歌詞がのった本を借りてきて、一生懸命歌っていました。小学生で演歌を歌うのですから、ちょっと普通じゃないですよ。

そして、中学になると初めて作詞作曲をしました。県の児童生徒作曲コンクールで銀賞をいただいたこともあります。高校一年の時は『自然はほくらの宝物』という曲が佳作になり、その後作った『自然はいつまでも』という歌はメダカの合唱団で今も歌い続けられています。両親やまわりの人たちは、僕のためにいろいろな苦勞があったかと思いますが、僕自身は視覚障害があることで特別な苦勞をしていると感じたことはありません。この春から鹿児島国際大学の国際文化学部で学んでいますが、将来は英語の先生になりたいですね。ちょっとむずかしいけれど、チャレンジする楽しさがありますよ。

#### ●上高原 大介(かみたかはらだいすけ)さん

1984年 鹿児島市生まれ。  
小さい頃から音楽に親しみ、歌、作曲、演奏をこなす。  
この春、鹿児島盲学校から鹿児島国際大学国際文化学部言語コミュニケーション学科へ。  
英語の童謡との出会いがきっかけで、現在は英語の先生をめざしてがんばっている。



なにことにも前向きにチャレンジする上高原さん



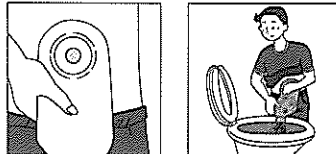
???  
バリアフリー  
Q&A

**Q1** 「オストメイト」の意味をご存知ですか？

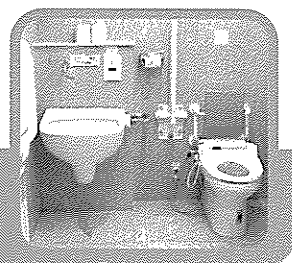


**A** 直腸や膀胱の機能に障害があるため、手術によって人工的に腹部などに排泄口(ストーマ)を造設した方をオストメイトと呼んでいます。上図はオストメイトの方に対応した設備を備えていることを意味するマーク。外見上は障害をお持ちであるとはわからないオストメイトの方でも、気兼ねなく使えるようにとの配慮もあります。

**Q2** どんな配慮が必要なのですか？



**A** オストメイトの方は、自分の意思とは関係なく出てくる便や尿を受け止めるための袋(パウチ)を腰部に装着しています。そのため、パウチの洗浄や汚れ物を洗うことができる汚物流しやパウチが洗浄可能な器具の付いた便器などが必要です。



！ オストメイトの方は、日常の排泄行為には様々な苦勞があり、特に外出先での排泄に苦勞しています。トイレを設備する際、オストメイトの方にも対応した設備もお願ひいたします。

福祉のまちづくり広報誌  
**ありば**

VOL.6 平成15年9月発行

「バリア」の逆は「ありば」。

バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。

みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。

人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介する広報誌、それが「ありば」です。

[感想をお寄せください]

**鹿児島県保健福祉部障害福祉課**

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2743) FAX.099-286-5558

[E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。